

数独の解き方

解き方のヒント

1	○
5	

数値が入る可能性があるマスが2つしかない場合はその数値を左隅に小さく書いておく。なるべく2つまで書く。時には3つ、4つ。
 そして書いた数値意外の数が入る可能性が無い場合は右上に○を書く。
 こうすると後での検討に非常に役に立つ。

10	8	10						
5		5						
2		4						
3		6						
	1							
	5							

左図のように1と5は入るマス」が
 きまっているので○を記入しておく。

次に解き方の色々なパターンについて述べる。
 マスの位置は横をA～I、縦を1～9で表示。
 ブロックは横をX, Y, Zで縦を上、中、下で表示。

- ① 基本パターンP1及びその応用パターンP2～を1から9までの数字に対して適応させて解く。
- ② 一つの数字が解けたらその数字に対してチェックする。
- ③ 途中で他の数字が解として出てきたら記憶しておき、今チェックしている数字が解けなくなったら記憶していた数字をチェックする。
- ④ 更に解けなくなるまで1から9まで繰り返す。
- ⑤ 基本パターンP20及びその応用パターンP21～を適応させて解く。
- ⑥ ①から⑤を繰り返す。
- ⑦ 解けなくなったらP30及びP40を適応させて解く。